

1. 科目名 (単位数)	文章表現 (2単位)	3. 科目番号	GELA1107
2. 授業担当教員	沼澤 清一		
4. 授業形態	講義、グループワーク、演習 (論作文)、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>大学での講義及び演習 (ゼミ) では、レポートを書いたり発表したりという表現力が要求される。この授業では、大学での学習や研究に必要な「書く」技術の基礎訓練を行うことをねらいとしている。</p> <p>したがって、目標とされるのは、文学的表現や美文調の修辞等ではなく、むしろ簡潔で明快な文章の表現法である。文法・文字表記の正しさ、語彙選択の適切さ、表現的的確さ、わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学習する。</p> <p>本科目の授業を通じて表現力やコミュニケーション能力を養うことは、大学段階にとどまらず、今後の社会でますます重要となってくるものであることを認識する必要がある。</p>		
8. 学習目標	<p>以下について学習・理解し、レポート・論文が書けるようになることを学習目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的・基本的事項を理解し説明できるようになる。</li> <li>2 わかりやすい言葉 (表現方法) で、明瞭で論理的な文章を書く技術を習得する。</li> <li>3 実践的な訓練を通して、自分の考えや意見を論理的に述べる文章表現力を身に付ける。</li> <li>4 定評のあるオピニオン誌の論文や新聞の社説などに触れ、現実の捉え方やものの見方を学ぶ。</li> <li>5 文章の読解力と文章の構成力を養い、文章表現に対する苦手意識を払拭する。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, レポート課題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学びレポート</li> <li>(2) 説明・報告型レポート</li> <li>(3) 要約型レポート</li> <li>(4) 論証型レポート</li> </ol> </li> </ol> <p>それぞれのレポート作成に関する本や資料などの収集</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社、2023年</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的・基本的事項を理解しているか。</li> <li>2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 積極的参加 (発言、討議、発表、取り組み等) 総合点の40%</li> <li>2 レポート (小課題・コメントペーパー等を含む) 総合点の60%</li> </ol> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>「レポートって、どうやって書くの?」「そもそも作文とどこが違うの?」大学生活は悩みの中からスタートします。本授業は、大学生として必要なレポート作成を初めて体験する皆さんを対象にした授業です。論文の作成方法について、段階を追って具体的に、ていねいに解説していきます。友達と意見交換をしながら共に学んでいきましょう。</p>		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明、30秒スピーチ「自己紹介」 科目のガイダンス (授業の進め方・グループ編成等)	事前学習	自己紹介スピーチ (30秒程度) の準備をしておく。
		事後学習	授業で確認したことを振り返っておく。
第2回	レポートの基礎・基本 ・「レポート・論文」と「作文」の違い ・レポートの種類 ◇「学び」レポート	事前学習	高校までの作文についてその形式を振り返っておく。
		事後学習	レポートの種類について分類し、その形式をまとめる。
第3回	◇「学び」レポートについての確認 ・レポートの基本	事前学習	前時に書いた「学び」レポートについて振り返っておく。
		事後学習	「学び」レポートの書き方について確認する。
第4回	◆説明・報告型レポートの書き方 ・データ収集の方法と活用の仕方	事前学習	高齢化社会の課題と解決の方策等に関する資料を収集しておく。
		事後学習	説明・報告型レポートの下書きをまとめる。
第5回	◆説明・報告型レポートの作成 ・グループでの意見交換を通しての修正	事前学習	説明・報告型レポートの下書きを振り返る。
		事後学習	説明・報告型レポートを完成する。
第6回	◆説明・報告型レポートの作成	事前学習	説明・報告型レポートを振り返る。
		事後学習	配付された資料を見直し説明・報告型レポートの書き方についてまとめる。
第7回	□要約型レポートの書き方	事前学習	要約型レポートの書き方について教科書を読み概要を確認する。
		事後学習	要約の仕方について資料を読み返す。

第8回	□要約型レポートの作成	事前学習	前時の確認を行う。
		事後学習	要約型レポートを完成する。
第9回	■論証型レポートの書き方 ・構成方法と資料収集について	事前学習	自分のテーマについて構想を練っておく。
		事後学習	論証型レポートの書き方に合うテーマとなっているかを考え、修正案を作成する。
第10回	■論証型レポートの作成 ・データ収集の方法と活用の仕方の確認	事前学習	自分のテーマに関する資料を収集する。
		事後学習	資料の収集を行う。
第11回	■論証型レポートの作成 ・テーマを決め、情報を集める。	事前学習	資料を整理して授業に臨む。
		事後学習	資料の選択を行い、場合によってはテーマの修正を行う。
第12回	■論証型レポートの作成 ・グループでの読み合わせを通して自分の方向性の確認を行う。	事前学習	序論・本論の見直しを行う。
		事後学習	話し合いを活かして、加筆などの修正を行う。
第13回	■論証型レポートの作成 ・引用のルール、参考文献一覧等について	事前学習	結論の見直しを行う。
		事後学習	結論と引用を完成する。
第14回	■論証型レポートの完成	事前学習	レポート全体の見直しを行う。
		事後学習	授業で確認したことを採り入れて完成させる。
第15回	文章表現の成果発表～小論文を紹介しよう～ 多くの友達のレポートを読み、その良さと取り組みから学ぶ。	事前学習	完成した論証型レポートの最終点検を行う。
		事後学習	全15回の授業を振り返り、レポート作成についてまとめる。